

令和三年度 文学部 和食文化学科

学校推薦型選抜試験 小論文

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。
- 5 この冊子は、問題用紙（四頁）・解答用紙（二枚）からなっている。
- 6 この冊子のうちに落丁・乱丁及び印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 字数制限のある解答では、問題文の指示に従うこと。
- 8 問題冊子と下書き用紙は、持ち帰ること。

令和三年度 文学部和食文化学科 学校推薦型選抜 小論文
正誤表

誤

正

○一ページ目一行目

・・に、今に人々が

・・に、今にも人々が

○二ページ目最終行

(一九九七)

(二〇二二)

一

次の文章は、江戸時代の食文化について述べた文章の一部である。当時の飲食店の状況を読み取ったうえで、現代日本社会の都市部（東京に限らない）の場合、飲食店の立地と形態がどう異なるかを四〇〇字程度（縦書き）で論じなさい。なお、改行した空白部分や、句読点、カッコなども含めて四〇〇字程度（三六一字から四四〇字まで）とする。また、設問の都合上、文章の一部を改めたところがある。（50点）

（著作権の関係で不掲載）

(著作権の関係で不掲載)

大久保洋子(一九九七)「江戸の食空間―屋台から日本料理へ―」講談社学術文庫、一一〇―一三ページ

(著作権の関係で不掲載)

【松田美智子, WASHOKU SEASONING, 6-8, 2016, 小学館より抜粋・改変】

- 問1. 下線部 1)の文章を和訳しなさい。
- 問2. 下線部 2)について, 具体的にどのようなこと言われているか, あなたの考えを, 日本語で記載しなさい。
- 問3. 下線部 3)の文章を和訳しなさい。
- 問4. 調味料の「さしすせそ」をこの順番に入れた方がよいと, 筆者が挙げている理由を, 日本語で記載しなさい。
- 問5. もし外国人観光客に, 日本の調味料の重要性を説明するとしたら, どのような伝え方が考えられるか。外国人観光客を, 和食料理店(どのようなタイプの店でもよい)に案内したという想定の下で, 説明の仕方を3つ日本語で記載しなさい。

- 二 以下の英語の文章は、和食の調味料を紹介する文章の一部である。以下の問題に答えなさい。(50点)

(著作権の関係で不掲載)